

キャンプディレクター2級養成講習 実施要項



×



大阪 YMCA 総合研究所は 日本キャンプ協会課程認定団体 Leave No Trace Japan 団体エデュケーショナルメンバーです

キャンプディレクター2級とは

キャンププログラムの企画、実際の運営・評価を行い、キャンプの運営に必要な実務的マネジメント担うことができる指導者です。

YMCA が実施する講習の特徴

- ・ **総合的な学び**
組織キャンプや教育、冒険教育における指導法と理論、環境倫理に基づいた具体的なミニマムインパクトの実践方法、救急法および野外救急法の理論と実践、さらにそれらを基盤としたリスクマネジメントについて総合的に学びます。
- ・ **実地学習**
六甲全山縦走路とその周辺をトレッキングし、摩耶山（標高 702m）の掬星台（日本三大夜景スポット）までのルートを実地踏査します。この中で、プログラムの企画・運営・評価、安全管理を実践的に学びます。
- ・ **環境倫理プログラムの体験**
環境倫理プログラム「リーブノートレイス」を体験し、ワークショップ修了証を取得します。
- ・ **アフターサポート**
講習終了後も専用サイトで学びを継続サポート。救急法や野外救急法、リーブノートレイスの講習案内や指導機会の提供、さらには D1 取得への支援も行います。

主催：YMCA 総合研究所（大阪 YMCA）

後援：（公社）日本キャンプ協会

日時：2025年2月28日（金）10時集合～3月2日（土）17時解散 2泊3日

会場：神戸市立自然の家 〒657-0101 兵庫県神戸市灘区六甲山町中一里山

対象：有効なキャンプインストラクター資格をお持ちの方で以下の受講要件を満たしている方
キャンプインストラクター資格取得後

・アウトドア活動参加経験2回以上 ・1泊以上のキャンプ指導経験1回以上

定員：12名（最少催行6名）先着順

受講料：22,000円

内訳：2泊宿泊代、食事5食（1日目夕・2日目朝・夕・3日目朝・昼）、プログラム費、保険料

別途：テキスト「キャンプディレクター必携」第3版（日本キャンプ協会編）2,200円

2日目昼食は摩耶ビューテラス702で各自となります

資格：すべての講習を満了し修了試験に合格され登録手続きを完了した方は、キャンプディレクター2級資格を取得することができます

日本キャンプ協会から合格通知後に各自で登録費用11,000円の支払いが必要です

締切：2025年1月31日（金）17時

キャンセル規定を設けています。申込時にご確認ください

申込み：QRコードから講習会HPにアクセスし、申し込みフォームからお申込みください

問合せ：outdoor-training@osakaymca.org または 080-9064-4325（公用携帯）



内容：

レポート課題 40時間 日本キャンプ協会が提供する教材を事前に郵送します

※解答を済ませて講習会受付で提出します

実講習 20時間 ・キャンプディレクター1級・2級共通（はじめに）

・キャンプディレクターの役割とキャンプカウンセリング

・プログラムの安全管理 ・プログラムのマネジメント（企画・運営・評価・改善）

アクセス：

【自家用車】

- ・ 神戸市自然の家駐車場をご利用いただけます（無料）

撮影について：

- ・ 講習中の様子を講師が撮影し、YMCA、Leave No Trace Japan、の広報に利用する場合があります
- ・ 受講者の皆様の撮影については全員の同意が得られた場合可能とします
- ・ 講習の全録画、全録音、リアルタイムでの SNS 等アップは禁止します

ルールとマナー：

- ・ 講習会中は終日禁煙です
- ・ 講習会中の外出は原則できません
- ・ 指導者にふさわしい服装、言動をお願いいたします

宿泊：

- ・ 宿泊は 2 泊とも施設泊になります

入浴：

- ・ 施設浴室を利用します

その他：

- ・ スマートフォン等電波状況は各キャリアとも施設内は非常につながりにくいです
- ・ 施設内、摩耶山頂に自動販売機があります
- ・ 施設周辺にコンビニエンスストアや ATM などはありません
- ・ 事前準備から講習会中は Leave No Trace の 7 原則を参考にします

食事：

- ・ 1 日目昼食（飲み物含む）は持参になります。お弁当と飲み物を持参してください
- ・ 1 日目、2 日目夕食はグループ調理となります。材料、調理器具は提供します
- ・ 食器類、飲み物は各自ご持参ください。ごみを出さない／減らす／適切に処理することを考慮したものをお選びください
- ・ 2 日目（予定）のトレッキング中に補給する行動食（トレイルフード：栄養価が高く、軽量で腐りにくいエネルギーゼリー、アメ、塩分タブレット等）をご準備ください

食事一覧

	1 日目	2 日目	3 日目
朝食	-	施設食堂	施設食堂
昼食	弁当（持参）	山上カフェ（予定）	施設食堂
夕食	グループ調理（施設）	グループ調理（施設）	

持ち物

キャンプ指導者にふさわしい服装、装備、活動と泊数に応じた準備をしてください

✓	品目	備考 LNT7原則1 事前の計画と準備
	テキスト「キャンプ指導者入門」	キャンプインストラクター養成講習で購入したもの
	防寒着	ダウンジャケット、フリース、手袋、ネックウォーマー他
	帽子	トレッキング等屋外活動時の頭部保温のため
	シャツ（半そで、長袖）	施設内外、トレッキング、着替用等
	トレッキング用長ズボン	施設内外、トレッキング、着替用等
	トレッキング用靴下	施設内外、トレッキング、着替用等
	雨具（上下セパレート）	施設内外、トレッキング用
	室内履	
	トレッキングシューズ	トレッキング用
	リュックサック	トレッキング用
	ヘッドライト	両手が使えるヘッドライトが望ましいです
	ロープ（長さ2m,太さ6mm以上）	ロープワーク用
	筆記用具	
	スマートフォン	
	スマートフォン用バッテリー	
	タオル	
	洗面用具	リンシンシャンプー、ボディソープはあります
	ビニール袋 45ℓ	荷物の防水やごみ入れに
	ジップロック（S,M,L）	
	1ℓ以上のウォーターボトル	ナルゲンボトルがのぞましい
	ファーストエイドキット	
	マッチ（ライター）	グループ調理用
	布巾、雑巾	グループ調理用
	ナイフ	グループ調理用
	まな板	グループ調理用
	はし、フォーク、スプーン	グループ調理用 使い捨てでないもの
	ゴムへら	グループ調理用
	食器（お皿、お椀など）	グループ調理用
	弁当（1日目昼食）	必ずご持参ください
	マイボトル	
	トレイルフード	トレッキング用
	保険証	
	受講料、テキスト代	合計 24,200 円 ※現金のみ 釣銭のないようにお願いします
	2日目昼食代	

※その他、必要と思うものがあればご持参ください

以下のサイト（動画）を必ずご覧になり、その上で各自工夫してご準備ください

[【#1 キャンプの準備の仕方】](#)

[登山やキャンプの事前の計画と準備の仕方](#)



プログラム（予定）

1日目 2月28日（金） 日出：6:29 日入：17:53 月齢：0.1 月出：6:38 月入 18:10	
10:00	集合・受付 開講式 オリエンテーション 人間関係作り 講義：「キャンプディレクター1級・2級共通（はじめに）」
12:00	昼食（持参弁当）
13:00	講義 「キャンプディレクターの役割」
14:30	講義・演習 「キャンプディレクター2級として求められる安全管理の考え方」 「プログラムにおける安全管理の実際」
16:30	演習・グループ調理 「プログラムのマネジメント」 「プログラムにおける安全管理の実際」
18:00	夕食（屋外調理スペース） 片づけ
19:00	講義・演習 「プログラムの企画」
20:00	情報交換機 入浴
22:00	就寝

※天候等により予定を変更する場合があります

プログラム（予定）

2日目 3月1日（土） 日出：6:28 日入：17:54 月齢：1.1 月出：7:08 月入 19:21	
6:00 7:00	起床 朝食（食堂）
8:00	講義・演習 「プログラムの企画」 「プログラムの評価」
10:00	トレッキング準備 トレッキング出発 「プログラムのマネジメント」
12:00	摩耶山頂掬星台 昼食（カフェ 702 予定） 「プログラムにおける安全管理の実際」
15:00	自然の家帰着 「プログラムの企画」
16:30 18:00	演習・グループ調理 「プログラムのマネジメント」 「プログラムにおける安全管理の実際」 夕食（屋外調理スペース） 片づけ
19:00	演習 「プログラムの企画」 企画書の提出（個人とグループ） 入浴
22:00	就寝

※天候等により予定を変更する場合があります

プログラム（予定）

3日目 3月2日（日） 日出：6:27 日入：17:55 月齢：2.1 月出：7:37 月入 20:32	
6:00 7:00	起床 朝食（食堂）
8:00	演習 「プログラムの企画・運営」準備
10:00	演習 「プログラムの企画・運営」発表 「プログラムの評価」
11:30	まとめ 「プログラムの企画・運営・評価」
12:00	昼食（食堂）
13:00	講義 「キャンプカウンセラーへのスーパービジョン」
14:30	自習時間
15:30	修了試験
16:30	事務手続き 閉校式
17:00	終了

※天候等により予定を変更する場合があります

LNT 7 原則

原則 1 事前の計画と準備 (Plan ahead and prepare)

- ・行き先のルールや注意することを知ろう
- ・悪天候や緊急時に備えよう
- ・ピークシーズンや混雑する時間帯を避けよう
- ・できるかぎり少人数のグループで活動しよう
- ・できる限りゴミが少なくなるようにパッキングしよう
- ・標識に頼らずに地図とコンパスを使おう

原則 2 影響の少ない場所での活動 (Travel and camp on durable surfaces)

- ・指定地、岩、砂、雪、乾いた草など頑丈な土地の上で活動しよう
 - ・キャンプサイトは水辺から 60m 以上離れたところを見つけよう
 - ・よいキャンプサイトは作るのではなく見つけよう
- よく使われている場所では
- ・指定のトレイルやテントサイトを利用しよう
 - ・トレイルがドロドロでも真ん中を歩こう
 - ・キャンプサイトは植生が少ない場所にてできる限り小さく設営しよう
- ほとんど使われていない場所では
- ・人が入っていないところではキャンプサイトや歩行を分散させよう
 - ・インパクトが始まりかけた場所は避けよう

原則 3 ゴミの適切な処理 (Dispose of waste properly)

- ・すべてのゴミや食べかすを持ち帰ろう
- ・キャンプサイトや休憩場所を離れる時にゴミを確認しよう
- ・トイレは水辺、テントサイト、トレイルから 60m 離れたところを見つけよう
- ・トイレは 20cm 程度穴を掘って行き、終わったらしっかり埋めよう
- ・トイレトペーパーは持ち帰ろう
- ・食器は水辺から 60m 離れたところで、必要最小限の天然洗剤で洗おう
- ・食べかすはこし網で取り除こう

原則 4 見たものはそのままに (Leave what you find)

- ・文化的、歴史的遺跡は触れずに見るだけにしよう
- ・石、植物等すべての自然物は置いて帰ろう
- ・外来生物を運んだり、持ち込んだりするのを避けよう
- ・木で何かを作ったり穴を掘ったりしないようにしよう
- ・キャンプサイトはもとどおりにしてから出発しよう

原則 5 最小限のたき火の影響 (Minimize campfire impacts)

- ・できる限りストーブを使うようにしよう
- ・たき火をするときは焚き火台やマウンドファイヤーを使おう
- ・たき火の大きさは必要最小限にしよう
- ・薪には手で折れる程度の落ちている枝だけを使おう
- ・すべての薪が灰になるまで燃やそう
- ・灰は完全に消火してからバラまこう

原則 6 野生動物の尊重 (Respect wildlife)

- ・野生動物は遠くから観察しよう
- ・野生動物にエサをあげないようにしよう
- ・食べ物に野生動物が近づかないようにしよう
- ・ペットはいつもつないでおくか、家に置いてこよう
- ・子育てや巣作りなどをしている野生動物には近づかないようにしよう

原則 7 他のビジターへの配慮 (Be considerate of other visitors)

- ・他のビジターの体験の質を保とう
- ・他のビジターとスペースを譲り合おう
- ・他のビジターとすれ違うときは登りの人を優先しよう
- ・キャンプや休憩はトレイルから離れて行おう
- ・自然を静かに楽しもう